

ご使用上のご注意

1. 運搬・保管及び取扱い

運搬時及び施工現場等での保管並びに取扱いに際しては、塗膜の損傷防止に注意して下さい。

2. 補修

もし施工中に疵がついた場合は、専用の補修塗料をご使用して下さい。
(補修塗料については当社窓口までご相談下さい。)

3. 加工

加工、成型などを行う場合、塗膜が剥離しないように加工方法にご配慮下さい。
また、寒冷地での加工は、加温加工を推奨します。

4. 施工

- 接合金具、止め金具、釘などは耐食性の良いもの（ステンレス/SUS304製など）をご使用下さい。
- 油等の汚れは、家庭用中性洗剤または温水で除去して下さい。
- コーキング材を使用する場合は、塗装鋼板の耐久力に見合う高品質の製品をご使用下さい。
- 保護フィルム付きをご使用の場合は、施工後すみやかに保護フィルムをはがして下さい。
- 材料の切り屑、切粉、釘等は、もらい錆の原因となりますので、完全に取り除いて下さい。
鳥の糞、砂、泥、有機物（木の葉等）の堆積は、塗膜に有害です。その都度清掃して下さい。
- 濡れたコンクリートや湿った木材、銅や鉛などの異種金属が接触するような施工は、化学・電食作用を誘発する可能性があります。避けてください。
- 塗装鋼板の裏面は、防錆処理を配慮した設計をしていますが、断熱、結露防止、防水などに十分ご注意下さい。
- 防錆剤処理した木材又は合板に接触する部分には、絶縁用下葺で防錆して下さい。
- 水溜り箇所や湿潤箇所が出来ないように、屋根勾配や収まりにご注意下さい。

■コイルの質量表

ガルバリウム鋼板の記号		AZ150									
幅 (mm)		610		762		914		1,000		1,219	
表示厚さ (mm)	単位質量 (kg/m ²)	1mの質量 (kg)	1トンの長さ (m)	1mの質量 (kg)	1トンの長さ (m)	1mの質量 (kg)	1トンの長さ (m)	1mの質量 (kg)	1トンの長さ (m)	1mの質量 (kg)	1トンの長さ (m)
0.27	2.320					2.12	472	2.32	431		
0.30	2.555					2.34	427	2.56	391		
0.35	2.948	1.80	556	2.25	444	2.69	372	2.95	339		
0.40	3.340	2.04	490	2.55	392	3.05	328	3.34	299		
0.50	4.125	2.52	397	3.14	318	3.77	265	4.12	243	5.03	199
0.60	4.910	3.00	333	3.74	267	4.49	223	4.91	204	5.99	167
0.80	6.480	3.95	253	4.94	202	5.92	169	6.48	154	7.90	127
1.00	8.050	4.91	204	6.13	163	7.36	136	8.05	124	9.81	102
1.20	9.620	5.87	170	7.33	136	8.79	114	9.62	104		

トーカーカラーGL

東海カラー株式会社

本社・工場 〒808-0022 北九州市若松区大字安瀬一番地 TEL(093)771-1080 Fax(093)752-1230

●営業所のご案内

営業部 〒808-0022 北九州市若松区大字安瀬一番地 TEL(093)771-1081 Fax(093)752-1230
 広島営業所 〒730-0013 広島市中区八丁堀15番10号(セントラルビル7F) TEL(082)221-3408 Fax(082)502-0413
 大阪営業所 〒530-0005 大阪市北区中之島三丁目2番4号(朝日新聞ビル12F) TEL(06)4706-6381 Fax(06)4706-6382
 名古屋営業所 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2丁目13番18号(NSビル6F) TEL(052)586-9895 Fax(052)589-2163
 ホームページアドレス <http://www.tokacolor.co.jp/>

●特約店

※本仕様は製品改善のため、予告なく変更することがあります。また、製品の色は撮影、印刷インキの関係で実際の色とは異なる場合がございます。

ISO 9001



東海カラー株式会社

トーカイカラーGL

トーカイカラーGLは、
耐食性に優れたガルバリウム鋼板をベースメタルに、
下塗り(プライマー)、上塗り(トップコート)の2回塗装を行い、
耐食性/耐候性を主体に塗膜設計を行っていますので、
品質はきわめてすぐれている、
塗装ガルバリウム鋼板です。

トーカイカラーGLの特長

優れた耐食性・耐候性

55%アルミ・亜鉛合金めっき鋼板を原板に、下塗りで特に耐食性、上塗りで耐候性重視した2コート、2ベークの塗装ガルバリウム鋼板です。

優れた加工性・密着性

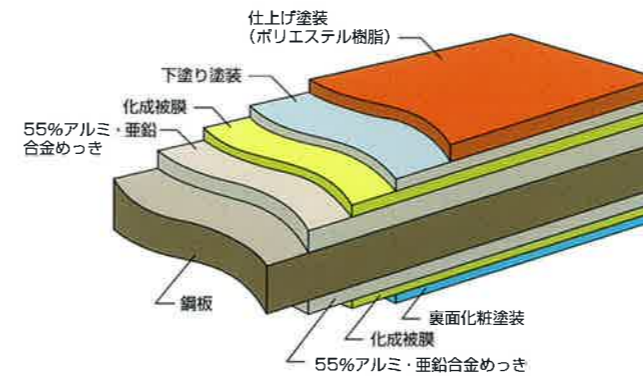
原板に加工部のクラックが小さいガルバリウム鋼板に、更に特殊な表面処理を施して塗膜の密着性を高めていますので、加工時のヒビ割れや塗膜剥離の心配はありません。

豊富な色彩

時代とともに色に対する趣向は変化していきます。トーカイカラーGLは標準色(常備色)に加え、特殊な色合い、指定色につきましては、現物色見本や、日塗工(日本塗料工業会色見本帳)などでお問合せ下さい。



■構造



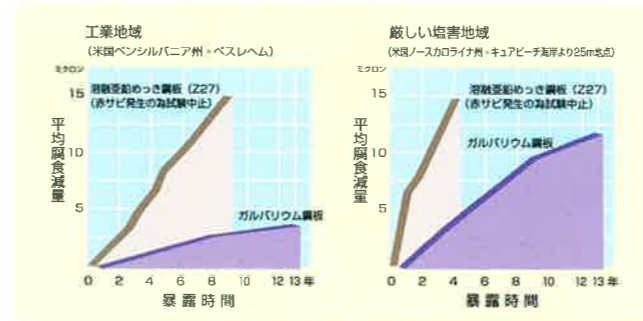
■製造可能寸法

区分	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)	コイル重量(kg)
平板	0.27~0.5	914	1,829~3,048	—
コイル	0.27~1.2	610~1,219	—	2,000~5,000

■日本工業規格の番号 JIS G 3322
■国土交通大臣認定不燃材料 認定番号 NM-8697

■厳しい環境下で実証されたガルバリウム鋼板の耐食性

ガルバリウム鋼板は、米国で20年以上の使用実績を持つ他、世界各地で盛んに使用されています。ここに厳しい塩害地域(ノースカロライナ州・キュアビーチ)及び大気汚染の厳しい工業地域(ペンシルバニア州・ベスレム)で13年間にわたり試験した、溶融亜鉛めっき鋼板とガルバリウム鋼板の屋外暴露の結果があります。これによると、特に塩害地域と工業地域でガルバリウム鋼板は、付着量Z27の溶融亜鉛めっき鋼板より3~6倍の耐久力を発揮することが実証されています。また、グラフから、溶融亜鉛めっき鋼板の腐食減量は大きく暴露時間に比例しているのに対し、ガルバリウム鋼板は時間の経過に伴い、腐食のスピードが減速していることがわかります。つまり、鉄を保護する酸化生成物による自己修復作用が働き、ガルバリウム鋼板の耐久力は、長期にわたる程、他の亜鉛めっき鋼板との差が開いていくわけです。



■塗装鋼板試験値の一例

試験項目	試験内容		トーカイカラーGL
			(ポリエステル樹脂塗装)
物性	光沢(60度鏡面反射率)		70
	鉛筆硬度(三菱uni)		2H
密着性	基盤目試験	JIS G 3322	◎
	衝撃試験	//	○
	曲げ試験	//	○
加工性	曲げ試験(180度曲げ)	2T	◎
		4T	◎
耐食性	塩水噴霧試験(JIS Z 2371)	試験時間 平面部	1,500時間 ○
		クロスカット部 2T曲げ部	○ ◎
耐食性	湿潤試験 49°C× 相対湿度98%	試験時間 平面部	1,500時間 ○
		クロスカット部 2T曲げ部	○ ○
耐候性	デューサイクル ウェザーメーター	試験時間	200時間
		光沢保持率(%) 色差(ΔE)	12.0 6.0
耐薬品性	5%水溶液	試験時間	120時間
		硫酸 苛性ソーダ	◎ △

注 1) 評価は 優 ◎ ○ ◎ △ × 劣 を示します。
2) 曲げ試験のTは板厚を示します。
上表の試験結果は、弊社試験室での試験データであり保証値ではありません。

